

自分の未来は自分で切り開く  
進学と仕事を考える

学校法人有朋学園  
理事長 林 明夫

1. 有朋高等学院の基本理念とは

2. 「教育目標」

- |                |                |
|----------------|----------------|
| (1) 自立独歩の精神のもと | (5) 創造性にあふれ    |
| (2) 法を重んじ      | (6) 新しい時代を担う   |
| (3) 謹厚かつ情緒豊かで  | (7) 有為な人材を育成する |
| (4) 勤労を尊び      |                |

3. 「校訓」

- (1) 進取      (2) 創造      (3) 克己

4. これからの社会と求められる基本的な能力

- (1) 3.11 東日本大震災・課題山積社会.....自律的に活動する能力  
(2) 知識基盤社会 .....知識・情報・技術を相互に組み合わせて用いる能力  
(3) 国際化社会 .....多様な集団で交流する能力

5. 基本的な能力を身につける前提となる条件

- (1) 学び方を学ぶ(learning to learn)能力を身につけていること  
(2) 読書による思慮深さを身につけていること  
\* 新聞を読んで自分で考える力、批判的思考(critical thinking)能力を身につけていること

6. 学校の勉強は進学して役に立つか、社会に出て役に立つか

- (1) 教科の勉強はすべて進学して役に立つ。  
進学先では、高校で十分に勉強したことを前提にすべての教育体系が成り立っている。
- (2) 教科外の学校での教育活動も、進学先や社会に出てすべて役に立つ。
- (3) 学校の教科書・資料集は処分しないで、一生涯活用すること。

7 . 高校卒業後の進路

- ( 1 )4 年制大学
- ( 2 )短期大学
- ( 3 )専門学校
- ( 4 )大学院(修士課程、博士課程)
- ( 5 )仕事に就く
- ( 6 )その他

8 . 高等教育機関などでの教育と研究、生活

- ( 1 )4 年制大学  
一般教養課程、 専門課程、 放送大学
- ( 2 )短期大学
- ( 3 )専門学校
- ( 4 )大学院  
修士課程、 博士課程、 専門職大学院
- ( 5 )留学  
コミュニティ・カレッジ、 大学
- ( 6 )大学開放(公開)講座

9 . 仕事とは何か、働くとは何か、就職力を身につけるには

( 1 )仕事とは何か

お客様の問題解決になり、お客様のお役に立つこと。

そのことで、社会の問題解決になり、社会のお役に立つこと。

お客様の問題解決になるという結果を出さなければ、仕事をしたことにはならない。

ただし、仕事はルールの中ですることが求められる。法令違反や社会のルールに反した仕事は認められない。

( 2 )何のために働くのか

生活できるだけの収入を得るため。

お客様のお役に立つため、社会のお役に立つため。

生きていてよかった、仕事を通して自己実現するため。

( 3 )「就職力」を身につけるには

採用試験に合格すること

(ア)エントリーシート

(イ)SPI

(ウ)筆記試験……学力試験、一般常識試験

(エ)面接試験……集団面接、集団討議、個人面接(一次、二次、三次)

採用試験合格後

(ア)研修

- ・ OFF JT (OFF THE JOB TRAINING)
- ・ OJT (ON THE JOB TRAINING)

(イ)配属

(ウ)試用期間

(エ)仕事能力を身につけること

- ・雇われる能力
- ・一般社員として雇われる能力
- ・中堅社員(マネジャー)として雇われる能力
- ・経営幹部として雇われる能力

退職、転職

(ア)「去る鳥、跡をにごさず」

(イ)新しい仕事に向けてのスキルを身につける

(ウ)再就職にチャレンジ

## 10. 学力の身につけ方

子曰わく、学びて時に之を習う、亦た説ばしからずや。  
 朋有り遠方より来る、亦た楽しからずや。  
 人知らずして搯らず、亦た君子ならずや。

(論語、学而第一)

(通釈)

孔子が言った。学問をして、その学んだところを、復習できる機会を逃さずに、何回も何回も、くり返して復習すると、学んだところのものは、自分の真の知識として完全に消化され、体得される。これはまた、なんと喜ばしいことではないか。

このようにして、知識が豊かになれば、道を同じくする友達が、遠い所からまでもやって来て、学問について話しあうようになる。これはまた、なんと楽しいことではないか。

しかし、いくら勉強しても、この自分を認めてくれない人が世間にはいるもの。そうした人がいたとしても、怨まない。それでこそ、学徳ともにすぐれた君子ではないか。

\* 須永美知夫著「論語抄」史跡足利学校事務所 1993年3月25日刊 P1 ~ 2

(1)まずは「理解」

教科書などを一語一語意味を確かめながらゆっくり読み、「うんなるほど」と納得することを「理解」という。

意味のよくわからない語句が出てきたら、辞書(国語辞典、英和辞典、各科の用語辞典など)を用いて調べる。調べたことはノートにメモする。メモした語句とその意味は、ノートを繰り返し繰り返し読み直して正確に覚える。よく書けなければ、書き取り練習をして正確に書けるまでにする。

読み方がわからない漢字は「漢和辞典」で調べ、調べたことはノートにメモする。メモした漢字とその意味も正確に覚える。

発音の仕方がよくわからない英単語は、「発音記号」を用いて覚える。「発音記号」は辞

書の解説をよく読み「理解」した上で「練習」を繰り返す。

授業中は先生の授業を一語一句聞き漏らすことのないよう真剣に聞き、「理解」に努める。

必要なことは、どんどんノートにメモし続ける。

授業終了後は、後でノートを用いて勉強しやすいように、授業を思い出しながらノート整理する。

授業を聞いてもよくわからないところは、友人や先生に許しを得てから質問。よくわからないところを少しでもなくす努力をする。

## (2)次は「定着」

よく「理解」した内容をスミからスミまで身につけるのが「定着」。

ただし、「定着」の前に、もう一度その日の授業で勉強したことを授業で用いた教科書や参考書、問題集、ノートなどを用いて「すべて」やり直してみる。やり直してみても、未だよく「理解」していないところがあったら、もう一度「理解」に努めること。

「理解」できた内容をスミからスミまですべて覚えるのが「定着」。

まずは、何も見ないでスラスラ言えるまでにすること。

何も見ないでスラスラ言えるようになったことを、何も見ないで正確に楷書、教科書の書体で書けるまでにすること。

一度なぜそのような解答になるのかを「理解」した計算や問題は、その計算や問題を見た瞬間にパッパッパッと条件反射で正解が出るまでにすること。

そのためには、「練習、練習、また、練習」以外にない。どのような練習か。「音読練習」

「書き取り練習」「計算・問題練習」以外にない。この定着のための3つの練習を「定着のための三大練習」と私は名付けました。

「練習は不可能を可能にする」とは、慶應義塾大学の元塾長小泉信三先生の言葉。「定着のための三大練習」は学力の飛躍的向上に役立つ。学力向上は、人生の選択肢を増やすことに直結。

自分の未来を自分で切り開きたかったら、「理解」した内容について「定着のための三大練習」ですべてスミからスミまで身につけよう。

## (3)最後が応用

「応用」とは、「理解」した内容をスミからスミまで正確に「定着」させることにより、テストでよい点数を取ること、更には実生活で役に立てられること。

テストでよい点数を取るには、過去に出題された問題を最低5年分、6回以上解いてみる

こと。  
間違えた問題については1回ごとに、なぜその問題を間違えたのか、その原因を自分で分析する。もし「理解」不足で間違えたのなら、もう一度「理解」を。もし「定着」不足で間違えたのなら、必要な「定着のための三大練習」を。もし「応用力」不足で間違えたのなら、より多くの過去問や類似問題の練習をすること。これをまとめて「誤答分析」と私は名付けました。

11. 大学(等)入試突破の秘訣 - 本人の自覚 -

- (1) 何のために大学(等)に行くのか、よく考える。
- (2) 大学(等)に行って何をするのか、よく考える。
- (3) 大学(等)を卒業した後に何をするのか、よく考える。
- (4) どのような仕事に就きたいのか、よく考える。
- (5) どのような社会的活動をしたいのか、よく考える。
- (6) どのような人生を送りたいのか、よく考える。
- (7) 自分はこの世を去った後、後の世に何を遺<sup>のこ</sup>したいのか、よく考える。

<参考>内村鑑三著「後世への最大遺物」(岩波文庫)で、内村先生は人が後の世に遺せるものとして5つをあげておられます。

財産(お金)

事業(仕事)

著作(作品)

教育(教え)

生き方(ああ、あの人はあのよう<sup>に</sup>生きたのだという「生き方」)

\* 皆様は自分が死んだ後、何を後の世に遺したいですか。

- (8) 自覚をもって勉強すること。

12. 大学(等)入試突破の秘訣 - 学習時間の長さや集中力 -

- (1) 睡眠時間(6 ~ 8 時間)、生活に必要な時間(4 ~ 6 時間)、学校に通学する時間(8 時間)。
- (2) 全部たすと 18 ~ 24 時間となり、大学入試のために用いる時間はゼロ ~ 6 時間という計算になる。
- (3) 睡眠に 8 時間、生活に必要な時間に 6 時間用いたい人は、学校に通学する時間の 8 時間に全力を尽くす以外にない。あるいは、生活に必要な時間も何らかの工夫をして学び続ける以外にない。
- (4) 学校の休みの日は、8 ~ 12 時間受験勉強ができる。
- (5) 以上は単なる計算。単なる計算だが、勉強する時間をどう確保するかを考え、工夫することは大事。受験勉強に頭の良し悪しは全く関係ないが、勉強時間の絶対量は大いに関係がある。
- (6) 勉強時間は何によって決定されるか。それは「本人の自覚」。何のために学ぶのかをよく自覚している人は、勉強時間が長い。自覚が不足している人は勉強時間が短い。
- (7) 勉強、特に受験勉強は精神的な仕事とも言えるので、自分を取り巻く人々との人間関係がよくなると、勉強どころではなくなり、勉強時間が減少する。全くやらなくなる人も多い。
- (8) ではどうしたらよいか。相手との関係のもち方を変える工夫をすることを私は提案したい。例えば、元気なあいさつは誰にでも好印象を与える。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「失礼します」「さようなら」「いってきます」「ただいまかえりました」「いただきます」「おいしい」「ごちそうさまでした」「すみませんでした」、そして何よりも「ありがとうございました」

(9)「関係は本質に先立つ」という考えもある。本質的に人間同志は異なっているとしても、関係のもち方を考えることで争いを避けることができる。あいさつは人間関係の潤滑油。

(10)自分がされていやなことは、相手にもしない。自分が言われていやな思いをしたことは、相手にも口にしない。会った人は皆友達。よいことをして忘れる。このような考えもある。

(11)集中力の鍛え方 - ミニ座禅を身につけよう -

調身(身を整える)

調息(息を整える)

調心(心を整える)

\* 勉強する前、勉強した後、床に就く前に、たとえ数分でもよいからミニ座禅をやってみよう。始めるときに音の鳴るものを「チーン」と鳴らすと効果抜群。(記憶を促進する波が出ることも)

13. 大学入試突破の秘訣 - 勉強の方法を身につけること -

(1)「学習の3段階理論」で「学び方」を身につけよう

「理解」

「定着」

「応用」

(2)読書により思慮深さを身につけよう

本はゆっくり読む。

本は6回読む。

書き抜き読書ノートをつけ、繰り返し読み返す。

(3)新聞を読んで自分で考える力、批判的思考(critical thinking)能力を身につけよう

高校生は1日に1時間は新聞をじっくり読み込もう。

関心ある記事は、スクラップブックにまとめて繰り返し読み直そう。

自分はどう考えるのか、自分の力で考え、考えたことを文章にまとめよう。

注意一秒、ケガ一生。新聞をよく読み、やってよいこと悪いことを知ろう。

14. 最後に一言

(1)人生は長い。あせらないで、また、くじけない、あきらめないで生き抜くこと。

(2)健康第一(身体健康、心健康)

\* リフレッシュの方法を見つけること

(3)教育ある人とは、一生勉強し続ける人のこと。

(4)高校時代の友達是一生の友達、高校時代の先生は一生の恩師。少しずつでよいから友情を育てよう。

・「目には遠いが心は近い」のが友達。

(5)大変なことがあってもバタバタしないこと。

(6)一生勉強、一生青春

以上